

『概要版』 家庭ごみの戸別収集に関するアンケート調査

1. 調査目的

日頃からごみの分別排出等に尽力している関係団体の戸別収集に対するニーズを把握し、今後の廃棄物対策審議会における議論及び市の環境行政の基礎資料とする。

2. 調査対象（所属団体）

自治会、地区美化推進委員会、ごみ減量化推進委員会

3. 調査方法

- 方法：郵送調査方式
- 郵送数：935通
- 期間：平成29年2月20日から3月21日

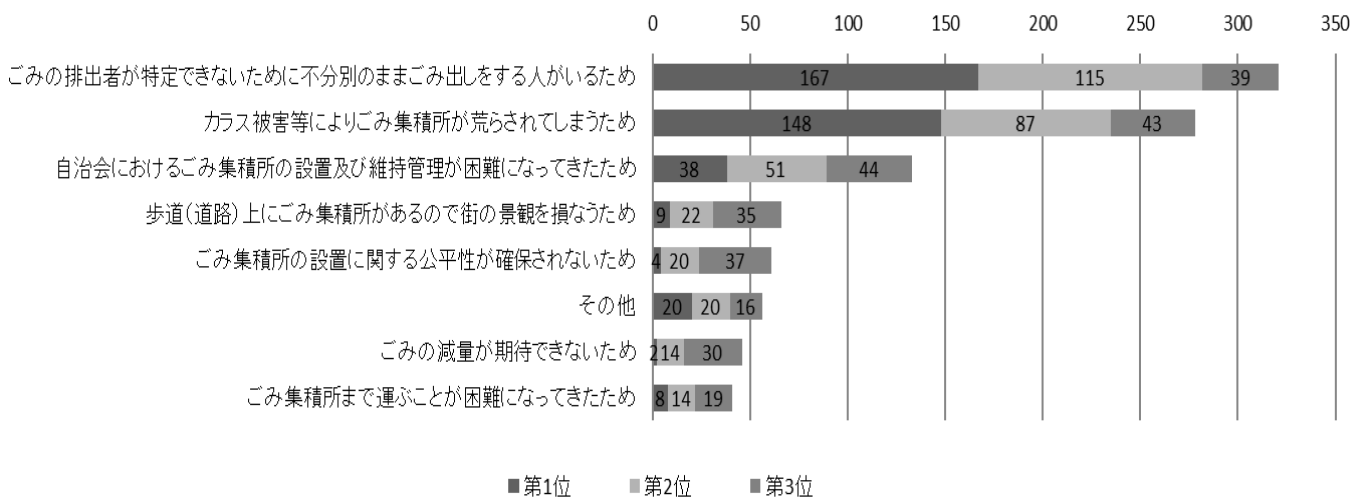
4. 調査結果

- 有効回収数：737通
- 有効回収率：78.8%
- (内訳) 自治会 97.7%
- 地区美化推進委員会 59.2%
- ごみ減量化推進委員会 83.5%



ごみ集積所について

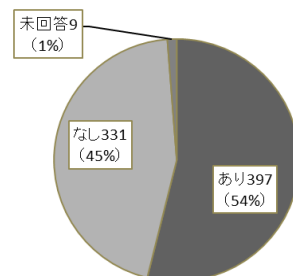
Q3.ごみ集積所に対する不満の理由



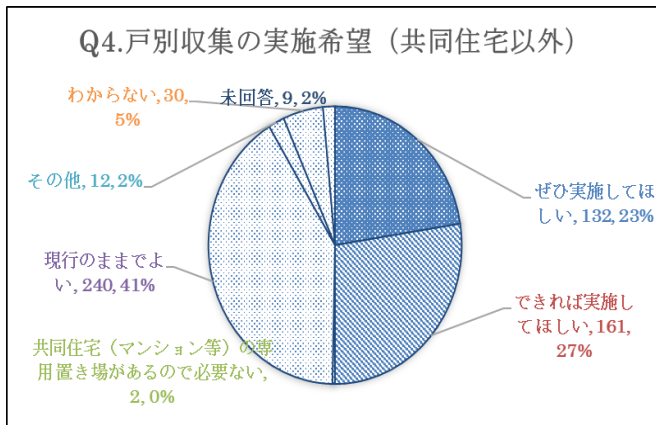
【ごみ集積所への不満の理由】

- ごみ集積所に対して「不満あり」54%、「不満なし」45%。
- 調査対象で最も不満が多かったのは自治会で59%。
- 自宅前に可燃ごみのごみ集積所があると回答した人は、全ての所属団体において50%以上が不満と回答。

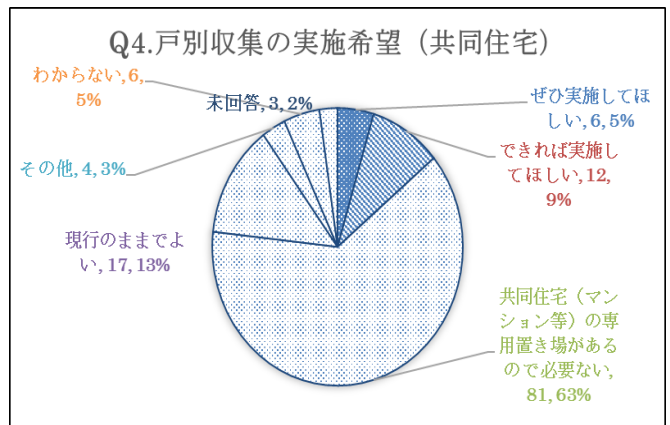
Q2.ごみ集積所への不満



戸別収集の実施希望の有無や意見等について



【戸建て住宅】



【共同住宅】

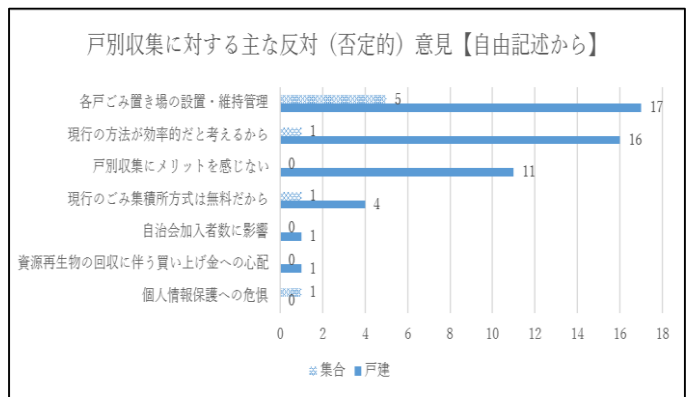
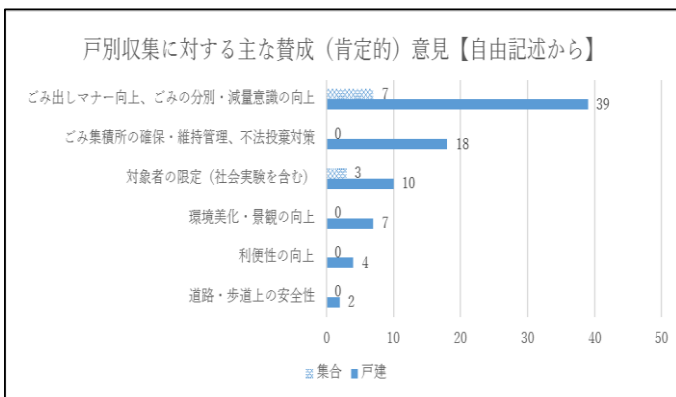
- ・戸別収集は戸建て住宅50%、共同住宅14%が希望。
- ・希望は可燃ごみ（週2回239人、週1回24人）、容器包装プラスチックの順。
- ・戸別収集の実施による弊害として最も多く挙げられたのは「カラス等の被害を防ぐことが面倒」316人。次いで「自宅の敷地内（道路に面した）にごみを出す家庭が増えることで、まちの景観が悪くなる」258人。
- ・戸別収集によるごみの減量及び分別の徹底は「絶対する」「たぶんする」65%、「あまりしない」「絶対しない」27%。
- ・戸別収集をごみ袋等の有料化でまかなうことについて、明確な賛成が16%、反対が20%。自由記述では受益者負担への言及あり。

・主な賛成意見（自由記述から）

- ・ごみ出しマナー向上、ごみの分別・減量意識の向上
- ・ごみ集積所の確保・維持管理等の解消
- ・戸別収集の対象者の限定、社会実験
- ・環境美化（景観）の向上
- ・利便性の向上
- ・道路・歩道上の安全性

・主な反対意見（自由記述から）

- ・各戸ごみ置き場の設置・維持管理への負担
- ・現在の収集方法の効率性・優位性
- ・戸別収集に伴う費用負担
- ・自治会加入者の減少
- ・資源再生物の買い上げ金の減少への危惧
- ・個人情報保護



調査主体：平塚市廃棄物対策審議会

事務局：平塚市環境部循環型社会推進課資源循環担当 23-1111（内線2120）